



Reitaku Overseas Development Association

# RODA ニューズレター

一般財団法人 麗澤海外開発協会 会報

令和2年  
(2020年)  
7月10日

第29号

第18巻第1号  
年2回発行

## 主な記事

- 巻頭 若い世代の育成を進め  
心の通い合う国際協力を推進する
- 報告 タイ・スタディツアー報告  
令和元年度事業報告
- その他 会費等のお願いと納入者紹介

発行所：一般財団法人麗澤海外開発協会  
〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1  
TEL. 04-7173-3165 FAX. 04-7173-8953  
<http://www.reitaku.or.jp>  
発行人・木下廣太郎／編集人・横山守男

## 若い世代の育成を進め 心の通い合う国際協力を推進する

一般財団法人 麗澤海外開発協会

会長 廣池 幹 堂



昨年末に発生した新型コロナウイルスによる感染の拡大は、広く世界各国に及び、私たちの日常生活はもちろん、世界の経済活動にも非常に大きな影響をもたらしています。こうした中、最前線で献身的に努力されている医療従事者、医療関係者の方々に心から敬意を表し、御礼を申し上げます。麗澤海外開発協会は、総合人間学モラロジーの創建者・廣池千九郎（法学博士・1866～1938）の遺志に基づき、「開発途上国において文化・経済の発展に協力するため、国際協力活動を通じて、世界の平和、人類の安心と幸福の増進に寄与すること」を目的に、昭和46年（1971）、外務省所管の財団法人として設立されて以来、半世紀近くにわたって開発途上国への貢献活動に取り組んでいます。今日までご支援を賜りました多くの皆様に、あらためて深く感謝申し上げます。

現在は、主にタイ北部の少数民族の子供たちへの教育支援、ラオスやカンボジアにおける学校建設等への支援、ネパールにおける医療支援、海外での自然災害に対する緊急支援等を行っています。また、当協会の副会長でラオス出身の竹原茂・麗澤大学名誉教授の名を冠した「竹原基金」を設置して、貧困等の理由で学校に通えないアジアの子供たちへの教育支援を進めています。平成26年度からはアジアからの留学生招聘事業も行い、現在6人目の留学生としてラオスのカムウォンサー・ウンニカーさんが麗澤大学で学んでいます。

さらに、わが国の青少年の育成に資するべく、タイ、ラオス等へのスタディツアーも実施しています。参加した学生・生徒・青年は、訪問国の人たちとの交流や現地での生活体験を通して、日本と世界との違いや国際協力についての理解を深め、将来、国際貢献の場で活躍するための知識と心を大きく育てています。

世界の平和、人類の安心と幸福の増進に貢献する人材を一人でも多く育てていくことは、私たちの使命です。今後もささやかではありますが、これまでの実績を踏まえ、国際社会に貢献する若い世代の育成に力を入れ、心の通い合う国際協力をいっそう推進していきたいと願っています。

世界の平和、人類の安心と幸福の増進に貢献する人材を一人でも多く育てていくことは、私たちの使命です。今後もささやかではありますが、これまでの実績を踏まえ、国際社会に貢献する若い世代の育成に力を入れ、心の通い合う国際協力をいっそう推進していきたいと願っています。

## 第16回 タイ・スタディツアーを開催



令和2年2月12日～20日（チェンライ、チェンマイ）

令和2年2月12日から2月20日までの9日間、麗澤海外開発協会（RODA）では、今年で16回目となるタイ・スタディツアーを開催しました。参加した麗澤大学生5名は、当協会の支援先であるルンアルン（暁）プロジェクトやメーコック財団などに滞在し、子供たちとの交流などを通して、タイで起きている社会問題を理解し、自分の視野を広げ、

メーコック財団の子供たちと



さまざまな気づきを得ることができました。

ルンアルン（暁）プロジェクトが管理するコーヒー農園では、有機農法によるコーヒーの栽培・販売を通

じて、地域での持続可能な生活向上をめざして活動しています。

メーコック財団では、ジェスチャーゲームや子供たちの名前を日本語で書くなどの遊びや、財団内にある教会の礼拝などを通じて触れ合うことができました。

今回は新型コロナウイルスの影響で、予定のスケジュールのいくつかが変更となりましたが、参加者は全員無事に帰国することができました。

### 参加者の声（抜粋）

〈英語・英米文化専攻 4年〉

メーコック財団滞在の時にモン族の村を訪れたことが印象に残っています。学校の校庭で、サッカーをしている子供たちがいました。私は子供たちと無性にサッカーをしたいと思い、仲間に入れてもらいました。言葉が通じなくても子供たちは楽しそうで、私が疲れて帰るまで一緒にやってくれました。スポーツは万国共通で、みんながつながっていると感じました。それが、今回の一番の収穫だったと思います。

〈英語・リベラルアーツ専攻 2年〉

スタディツアーに参加して、タイの貧しい地域に住んでいる子供たちの暮らしや教育の現状について、たくさんの発見や学びを得ることができた。メーコック財団では、現地の子供たちと触れ合う機会が多く、教会のミサに参加し、メーコック財団で暮らす子供たちの習慣を知ることができた。子供たちは、みんな家族のもとを離れて暮らしている。メーコック財団へ入ることで、学校へ行くことができ、タイ語や英語などの言語やその他の教育も受けることができている。女の子が、「家族と一緒にいられないことはとてもさみしいけれど、メーコック財団には友達もいるし、なにより多くのことを学べるから楽しい」と話していたことがとても印象に残っている。タイ・スタディツアーで触れたプロジェクトを通じて、貧しい地域で暮らす方々の力になりたいと強く感じた。

— 令和元年度 事業報告 —

1. 支援事業について

- 1) タイ北部チェンライ県で、生活が困窮している少数民族の児童に対して生活・教育支援施設の運営事業を実施している「メーコック財団」に助成した。
- 2) タイ北部チェンライ県で、農業技術指導と教育支援を実施している「ルンアルン(暁)プロジェクト」に助成した。
- 3) 東南アジアからの留学生への支援を行った。
  - (1) ネパールから留学生を招聘した。
    - ①氏名 バラミ・イッチャ (BALAMI Iccha) 19歳 女性
    - ②留学先 麗澤大学 別科日本語研修課程
    - ③期間 平成31年4月1日～令和元年8月10日
  - (2) ラオス国立大学文学部日本語学科から留学生を招聘した。
    - ①氏名 カムウォンサー・ウンニカー (KHAMVONGSA Ernika) 21歳 女性
    - ②留学先 麗澤大学 (特別聴講生)
    - ③期間 令和元年9月4日～令和2年3月31日
- 4) ネパールにおいて東洋療法(鍼灸・指圧)により住民の健康回復に寄与するため、無医村において無料巡回治療(ヘルスキャンプ)を実施した「ネパール赤十字シタパイラ支部」に助成を行った。
- 5) モンゴルに開校した新モンゴル日馬富士学園(小・中・高一貫校)の日本語教育及び道徳教育の現状視察のため、麗澤大学教員を派遣した。

2. 緊急支援について

- 1) ネパール・アネコット村(カトマンズ北東70キロ)で3度の豪雨被害(8月、9月、10月)に見舞われて通学路が一部通行不能になったので、復旧のための緊急支援を行った。

3. スタディツアーについて

- 1) 東南アジア諸国で活動する支援団体等の現状を視察し、海外ボランティア活動に理解を深めるためにスタディツアーを実施した。
  - (1) タイ・スタディツアー
    - ①訪問先 タイ北部(メーコック財団、ルンアルン(暁)プロジェクトほか)
    - ②日程 令和2年2月12日～2月20日(9日間)
    - ③参加者 6名(引率=北澤泰子事務局員)
  - (2) 麗澤各校が主催するスタディツアーへの支援と協力を行った。
    - (1) 麗澤高等学校タイ・スタディツアー
      - ①訪問先 タイ(バンコク、チェンライ)
      - ②日程 令和元年12月21日～12月29日(9日間)
      - ③参加者 15名(引率=石野教諭、成澤教諭)
  - (3) 麗澤大学の学生サークルが企画した海外ボランティア活動に助成を行った。
    - (1) ネパール・カトマンズ市で衛生問題に関する啓発活動やワークショップを行い、中高校において日本文化の授業を行った。
      - ①団体名 Be a Bridge!
      - ②訪問先 ネパール(カトマンズ)
      - ③日程 ・令和元年8月28日～9月7日(11日間)、参加者10名  
・令和2年2月13日～2月27日(15日間)、参加者12名
    - (2) 麗澤海外開発協会がカンボジアに寄贈した小学校において出前授業や運動会を行い、児童や教員と交流した。
      - ①団体名 Plas+ (Present Love to all students すべての子供たちに愛を)
      - ②訪問先 カンボジア(トム・オー小学校、トラム・クラール小学校、ベン・ロヴェア・レー小学校)
      - ③日程 令和2年2月4日～2月18日(15日間)、参加者12名

4. 研究・調査について

- 1) ネパールの支援先等を訪問し、現地の現状を視察して今後の方針についての打ち合わせを行った。
  - (1) 訪問先 ネパール(カトマンズ、アネコット村等)
  - (2) 日程 令和元年12月10日～12月16日(8日間)
  - (3) 訪問者 木下廣太郎

5. 広報活動について

- 1) ニューズレター第27号(発行日:令和元年7月25日)、第28号(発行日:令和2年2月25日)を発行した。
- 2) ホームページを更新した。

6. 出展活動について

- 当協会の活動に対する理解や支援者を募るため、会員の募集や写真展示等を行った。
- 1) 「伝統の日・感謝の集い」
    - (1) 日程 令和元年6月1日(土)、6月2日(日)
    - (2) 場所 廣池学園 中央広場

7. 賛助会員等の募集状況について

- 1) 賛助会員、寄付金、竹原基金等の募集を行った。
  - (1) 賛助会員 162件(個人145件、団体17件)
  - (2) 準会員 30件 (3) 寄付金 155件 (4) 竹原基金 81件

令和元年度 正味財産増減計算書

(単位:円)

経常収益の部		経常費用の部	
① 基本財産運用益	93,409	I 事業費	
② 特定資産運用益	2,225,678	① 消耗品費	18,295
③ 賛助会員受取会費	2,570,000	② 通信運搬費	160,154
④ 準会員受取会費	64,000	③ 旅費交通費	44,679
⑤ 受取寄附金	1,334,382	④ 食費宿泊費	70,517
⑥ 受取竹原基金寄附金	1,346,460	⑤ 海外旅費	1,424,028
⑦ 受取ツアー参加費	650,000	⑥ 報酬委託手数料	33,816
⑧ 受取利息	44	⑦ 広報活動費	266,616
⑨ 雑収益	0	⑧ 雑費	5,948
経常収益合計	8,283,973	⑨ 支払助成金	3,451,666
		⑩ 緊急援助費	1,000,000
		事業費合計	6,475,719
		II 管理費	749,091
		経常費用合計	7,224,810
		当期正味財産増減額	1,059,163

## たくさんのご支援ありがとうございます

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)掲載を同意された方をご紹介します。(順不同)

### ■会費

廣池幹堂、木下廣太郎、甲良昭彦、関哲夫、山口明、大橋政夫、野田ミート(株)、(株)ピアかざりや、新井秀啓、内田八代、長谷和治、竹原茂、土谷和光、林正勝、渡辺康博、栗山清和、橋本半兵衛、横山守男、大田モロロジー事務所、中村修一、杉浦廣道、小松務、(株)小松製菓、山本祥子、今井收、柏谷康博、大谷誠之、所一彌、長谷篤治、山田雅雄、佐藤薬品工業(株)、山本浩、小野剛、松本哲洋、横山印刷(株)、横山明弘、小西直之、藤村薫、望月一雄、古川定邑、俣野幸昭、桑島義智、和田悦治、太田徳昭、長谷川和子、東海林新彦、井上源一、堀内一史、水田恵一郎、増田一江、新井日出子、小林雅純、中川千恵子、永治達彦、古川益二、島田京子、濱井利一、福井博康、桑島朋子、三木実、平塚靖永、須見好和、松岡孝稔、有限会社 弘明堂、木津孝道、松本彰夫、風澤俊夫、長谷真千子、堀勝三郎、岸上肇、菅間正則、井川好長、岩田英志、黒白常光、菅澤運一、藤井啓雄、大山圭子、小峰進、田中一宏、板垣廣光、田中聖則、沖野二郎、北川治男、村瀬泰比古、鈴木貞夫、小西正純、小金井暁子、森口真美、淡島成高、八代京子、長谷享治、鈴木孝明、肥塚憲造、森田武志、結城保、青木久子、世田谷北沢モロロジー事務所、伊藤温夫、赤松良平、関口輝比古、奥光明、富士俊隆、加島亮伸、舟橋一祝、東京港モロロジー事務所、能勢千晴、早河順子、廣池学園モロロジー事務所、塚谷仁志、佐久間三郎、杉山幸史、福代明正、横浜港北モロロジー事務所、濱島直隆、高木宏和、北澤泰子、唐澤宏美、神永正男、上総モロロジー事務所、福井大野モロロジー事務所、藤田恭子、井上景介、三信(株)、我孫子利和

### ■準会費

俣野貴昭、俣野喜代美、俣野智美、大山圭子、長谷憲治、長谷美世子、高野橋健吉、安部和佳奈、安田誠一、野川裕史、尾崎哲子、須藤大介、佐藤惇、渡部陸、田村遙花、若松佳子、我妻けい子、我妻美奈子、川澤こころ、矢口寧々、今枝慶介、大石みのり、小川菜奈花

### ■一般寄付金

廣池幹堂、山口明、内田八代、長谷和治、荒木郁雄、渡辺康博、横山守男、大田モロロジー事務所、杉浦廣道、山本祥子、望月賢一、橋本半兵衛、(株)ダイキョープラザ、所一彌、長谷篤治、山田雅雄、俣野幸昭、山崎純雄、和田悦治、長谷川和子、東海林新彦、大住敬一、有限会社 弘明堂、福井博康、荻野益男、井上照悟、風澤俊夫、杉生協士、福田靖久、大山圭子、藤尾侑男、佐藤惇、田中聖則、杉山雄彦、橋本光世、三浦順治、北岡希久朗、山田武司、望月昭一、森田政見、沖野二郎、島崎執、森田武志、青木久子、伊藤温夫、田口英樹、横溝久子、相生モロロジー事務所、飯島孝夫、関俊章、佐久間三郎、麻野純一、井上景介、井上貢一、笠田環嗣、勝野高志、加藤栄一郎、小此木富士夫、神永正男、橋高重久、澤田修一、鋤柄誠治、高野橋弘、出口孝信、内藤元彦、長井孝介、永井弘純、中川政秀、西畑光廣、西村秀喜、前島義人、松島利允、増田顕次郎、三浦洋嗣、(株)ダスキン東横、三笠忠克、三上ハツミ、光安輝雄、御代川克之、宮田敏子、(株)三国一、三信(株)、大阪旭モロロジー事務所、大阪生野モロロジー事務所、大阪和泉モロロジー事務所、大阪柏原モロロジー事務所、尾道モロロジー事務所、春日部モロロジー事務所、佐久モロロジー事務所、高浜モロロジー事務所、高松モロロジー事務所、津山モロロジー事務所、東京都モロロジー協議会、横浜モロロジー事務所、若狭モロロジー事務所、美馬モロロジー事務所、羽ノ浦モロロジー事務所、美津島モロロジー事務所、宮城県北部モロロジー事務所、東濃森の国モロロジー事務所、長崎北部モロロジー事務所

### ■竹原基金

廣池幹堂、山口明、内田八代、長谷和治、竹原茂、荒木郁雄、横山守男、大田モロロジー事務所、杉浦廣道、山本祥子、柏谷康博、橋本半兵衛、所一彌、長谷篤治、山田雅雄、山本浩、俣野幸昭、大垣モロロジー事務所、桑島義智、和田悦治、長谷川和子、東海林新彦、島田京子、佐久間三郎、福井博康、荻野益男、桑島朋子、三木実、横山明弘、俣野智美、大山圭子、森田政見、沖野二郎、八代京子、青木久子、伊藤温夫、山田莊一、横溝久子、四日市西部モロロジー事務所、我妻けい子、我妻美奈子、片山道則、加藤信次、神永正男、桑島祥子、小林一正、佐久間八重子、長谷川卓司、鋤柄誠治、千葉静子、西畑光廣、野中康弘、三浦洋嗣、大阪和泉モロロジー事務所、(株)めこん、伊達モロロジー事務所、浜松西モロロジー事務所、麗澤大学ボランティアサークル「ブアン」、支援キルトの会ふーぶ

### 《会員・寄付金・竹原基金募集中》

麗澤海外開発協会は、皆様からお寄せいただいた会費や寄付金によって活動しています。

会員等での入会と寄付金・竹原基金にご支援いただきますようお願い申し上げます。

種 類	年 額
会 費	1口1万円(1口以上)
法人会員	1口1万円(1口以上)
準 会 員	1口2千円(1口以上)
寄 付 金	任意の寄付金を募ります
竹原基金	任意の寄付金を募ります

※通信欄に寄付等の種類をご記入ください

郵便振替：口座番号 00120-6-499164

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

銀行口座：三菱UFJ銀行松戸西口支店 普通 4057567

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

一般財団法人

麗澤海外開発協会事務局

〒277-0065

千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

T E L : 04-7173-3165

F A X : 04-7173-8953

E-mail : [kaikyo@ad.reitaku-u.ac.jp](mailto:kaikyo@ad.reitaku-u.ac.jp)

HP : <http://www.reitaku.or.jp/>



会費、寄付金をお寄せいただいた方のお名前は、会報に掲載させていただきます。掲載不要の方は、振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくか、事務局までお知らせください。ご連絡のない場合は掲載に同意いただいたものといたしますので、ご了承ください。